

令和7年度 第3回遠軽警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月18日（木）午後1時15分から午後3時までの間

2 開催場所

遠軽警察署 大会議室及び署前駐車場

3 出席者

(1) 協議会委員 5人（定員7人）

会長	遠藤	道代
副会長	秋元	恭子
委員	太田	貴幸
	松橋	奈美恵
	山本	梨沙

(2) 警察署 8人

署長	青木	義典
副署長	荒木	敬大
警務課長	薄井	誠哉
刑生課長	秋本	樹伸
地域課長	大橋	秀則
交通課長	富樫	俊介
警務係長		
管理係長		

4 署長挨拶

本日は師走の大変お忙しい中、令和7年度第3回遠軽警察署協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回開催しました第2回の協議会からちょうど3か月が経過いたしましたが、その間、幸いにも当署管内においては重要凶悪事件の発生はありませんでした。

ただ、その一方で先週の水曜日に、湧別町の計呂地で交通死亡事故が発生してしまいまして、今年に入って当署は6件目の交通死亡事故となっております。

過去の統計を調べましても、年間で6件発生したという年は16年前の平成21年まで遡らないと記録が見つからないというような状況であり、まさに異常事態となっております。

また、今回の事故は凍結路面でスリップした車両が回転してしまい、対向車線から走ってきたトラックと衝突し、スリップした側の運転手がお亡くなりになるという非常に痛ましい事案でございました。

今後はこのまま根雪になり、凍結路面がしばらく続くとは思いますが皆様方も、本人が安全運転をしていても、いつどこで何が起きるかは誰にも分かりませんので、キープレフトを維持し、速度を抑制して可能な限り防衛運転に努めて頂きたいと思います。

今回は、災害現場における救出救助訓練ということで、北見方面本部警備隊と紋別警察署、当署の3署合同で横転車両からの要救助者の救助訓練を行いますので、事案を認知してから救助するまでの過程を見て頂きたいと思います。

本日は寒さが厳しいですが、最後まで一日お付き合いをお願いいたします。

5 業務説明

(1) 犯罪発生・検挙状況

ア 過去3年間の発生状況

イ 令和7年11月末の発生・検挙状況

ウ 質疑応答

【委員】～ テレビ等の報道で、年末に窃盗犯などの発生が増えると言つていきましたが、遠軽署も同様に発生が増えるのでしょうか。

【警察】～ 遠軽署管内の発生状況に関してですが、特に年末だからですか、歳末だからということで増えることはありません。

【委員】～ ここ数年も、同様でしょうか。

【警察】～ ここ数年も、特に年末に増加している傾向はありません。

(2) 交通事故発生状況

ア 過去3年間の発生状況

イ 令和7年11月末における当署管内における交通死亡事故発生状況

ウ 先週発生した交通死亡事故の発生状況

エ 質疑応答

【委員】～ 先週の事故についてですが、亡くなられた方が運転していた車が軽自動車だったということですが、今年発生した他の5件の事故の亡くなられた方は、軽自動車ですか。

【警察】～ 軽自動車の運転手が亡くなられた事故は2件です。

【委員】～ あとは、普通乗用車ですか。

【警察】～ 普通乗用自動車が2件と自動二輪車が1件です。

【委員】～ 大型の車と事故を起こすと、普通車や軽自動車などは、車の鼻先が小さいので、怖いですね。

【警察】～ 大型自動車と衝突してしまうと圧倒的に重量の差が出てしまうため、弾き飛ばされてしまい、運転手も車両も損傷が大きくなってしまいます。

今回の事故も、回転しながら路外まで弾き飛ばされている状態ですので、特に気を付けなければいけないと思います。

【委員】～ 最近の死亡事故は、今回起きた計呂地とか芭露とか同じような場所で起きているのでしょうか。

【警察】～ 今回の死亡事故の場所は、半月ほど前にも同じ場所で、軽傷事故ではありましたが、今回の事故と同様にスリップ事故でした。

【委員】～ 同じ場所で発生しているということは、その場所は事故を起こしやすいというか、滑りやすい道路であるということでしょうか。

【警察】～ この場所は下り坂で、凍結してスリップが始まると、まったく制御できなくなるため、同様の道路形状の場所は注意が必要です。

6 諮問事項

「災害現場での救出救助における警察の役割」について

(1) 災害発生時に担う警察の役割等についての説明（副署長）

- (2) 竜巻災害警備を経験した職員による体験談（警務課長）
- (3) 災害現場における、横転車両内からの救出救助活動の視察
- (4) 質疑応答

【委員】～ 今回のような訓練は、めったにできないということでしたが、普段はどのような訓練をしているのでしょうか。

【警察】～ いきなり現場で本番というと上手くはいかないので、それまでに現場で活動できる技術を身につけなければいけませんが、今回のように廃車の手配が必要となるため、実際に車両を使用してできる訓練機会が限られていますので、警察署で行う訓練としては非常に珍しいと思います。

ただ、今回のような車両を使用しての訓練の機会が少ないとしても日頃から、その前段として使用する資機材の操作訓練を行っております。

【委員】～ 今回の訓練はサイレンを鳴らして現場に来ましたが、近所の人はびっくりしたかも知れませんね。

【警察】～ 札幌のような都市部であれば、サイレンが頻繁に鳴っていますので、あまり驚かれる事はありませんが、遠軽ですと滅多にサイレンを吹鳴して現場に臨場する機会は少ないので、驚かれたかも知れません。

警察としては、急いで臨場する必要のある事案では、先程視察して頂いたように、サイレンを吹鳴し赤色灯を点灯して緊急走行することになっております。

【委員】～ 車のドアを工具で開けて救助していましたが、私の感覚で思っていたよりも意外と時間がかかるんだなと思ったのと同時に、テレビの警察特番でよく見る救助と一緒に、常に時間との闘いなんだなと訓練を見ていて実感しました。

【警察】～ 車のドアもそうですが、簡単に開けることができると、交通事故等が起こった場合に簡単に潰れたり、中にいる人も怪我や死亡のリスクも上がってしまうため、頑丈さも必要となることから、開かない場所を無理矢理開けるとなると、それなりの時間を要することになります。

【委員】～ 救助隊員が救出するまでの間、車の中の人に「大丈夫ですか。」等と声掛けをしていたことも感心しました。

【警察】～ 日頃の訓練から、中にいる救助者の不安を払拭させ、容体を確認する意味でも、声掛けは確実に行うようにしています。

【委員】～ 今回の訓練を見て、実際に自分が救助される側になったことを考えると、すごく不安になると思ったので警察官の救助する姿はとても頼もしいと感じました。

7 協議会会长講評

先日、遠軽バスターミナル前の交差点で信号機が倒れる大きな事故があり、その現場を通りがかる機会がありました。

現場の警察官は寒い中、長時間交通整理や現場処理していましたが、警察官の現場処理の迅速さと日頃の努力のおかげで、当日のうちに通行止めが解除され、壊れた信号機も早期に復旧しており、非常に感心いたしました。

本日の救出訓練も貴重な訓練を視察させて頂き、また、この訓練でも警察官の

迅速・的確な活動を見ることができました。

先日発生した大きな地震の際にも「前にブラックアウトが発生したな。」であったり、「大雪の影響で紋別の鉄塔が倒壊したな。」等と過去の事例を想い起させられ、災害に対する備えや心構えについて改めて考える機会があるのですが、時間の経過と共に災害等に対する意識も薄れ、徐々に忘れてしまうことから、今回の訓練を機に、災害に対する備えや心構えを常に持つて生活していこうと思いました。

また、最近はあまり避難訓練をする機会がありませんでしたが、災害等が発生した時の季節や、避難の道路環境、気象条件等の避難環境もその時によって変化するので、様々な環境や条件下での避難訓練を実施する必要性を感じたとともに、自治体や町内会等の横の連携の重要性も再認識した良い機会になりました。

本日はありがとうございました。

8 署長総括

本日は、大変寒い中の訓練視察、ありがとうございました。

災害現場における救出救助訓練をご覧頂き、先程会長からもご指摘頂きましたが、災害発生のタイミングは予測不可能であり、まさにその通りであり、災害発生時に対応する機関は警察、消防、自衛隊など多岐にわたりますが、最も重要なのは、災害発生のその日に備えるということです。

我々は、災害や事故から逃れることはできませんので、万が一の事態に備え、本日のような訓練を継続的に実施しております。

各委員の皆様には、我々の日々の活動、訓練内容についてより深くご理解頂ける機会を今後も設けていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。

次回の協議会は、3ヶ月後の来年の3月となりますが、皆様とお会いできることを楽しみしております。

9 次回開催予定

令和8年3月を予定